

博物館資料（備品）の紛失について

1 概要

- ・2021年12月、重要物品「浜松城二の丸絵図」を含む資料（備品）6点の紛失を委員会報告
※報告後、改めて検索した結果、1点を発見（参考資料参照）
- (1) 2011年度には「浜松城二の丸絵図」の所在不明を認識していたにも関わらず、調達課に不明を報告せず。
- (2) 2018年度の物品検査において、「浜松城二の丸絵図」について、他の資料の箱を示すなど虚偽報告
- (3) 2020年度まで、調達課に「不明物品なし」と虚偽報告
- (4) 2021年度の物品検査において、調達課に「浜松城二の丸絵図」を含む資料（備品）6点の不明を報告

2 原因

- (1) 資料管理の不徹底
- (2) 事務の属人化、公務員倫理の欠如

3 課題

- (1) 資料（本館に約9万点、分館等に約7万点）の全点把握及び受入台帳等の整備・電子化
- (2) 公務員意識の向上及びコンプライアンス遵守のための職員研修

4 資料整理方針

※本館所蔵の資料整理を最優先。分館等の資料整理は本館終了後に着手

【2022年度実施予定】

- ・資料全点の名称及び細目の受入簿への記載
- ・配置図の整理
- ・先進施設事例の調査研究

【2023年度実施予定】

- ・資料全点の名称及び細目の受入簿への記載
- ・配置図の整理
- ・電子台帳のプラットフォーム構築（仕様変更の検討）

【2024年度以降実施予定】

- ・2024～2026年度 詳細整理、資料目録などの作成と電子台帳への移行及び運用
- ・2027年度～ 分館等の収蔵品整理

5 組織風土の改善を目指した職員倫理研修等の実施

- ・人事課研修教材（DVD）による職員倫理研修
- ・人事課研修資料を活用した館内ミーティング（職員間での討論）

6 再調査委員について

(1) 体制

①概要

区分	外部委員（地方自治法第 174 条に基づく専門委員）
根拠	要綱
委員	専門委員（4～5名）
その他	事務局＝市民部文化財課 総務部政策法務課経営推進担当

②外部委員（予定）

- ・浜松市博物館協議会委員（運営に対する諮問機関）
- ・博物館の管理運営手法検討アドバイザー
- ・弁護士（元検事もしくは元裁判官）
- ・公認会計士（公共団体の財産管理に精通するもの（包括外部監査の経験者））
- ・警察 OB

(2) 調査目的

- ・博物館が収蔵していた資料の紛失、その後の調査報告等に対する再調査に関すること
- ・再発防止策に対する提言に関すること

(3) 調査期間及び方法

①調査期間（予定）

- ・2022年5月から2022年10月末（最長6か月程度）

②調査方法

- ・本事項に係る内部調査資料、関係者へのヒアリング等により実施



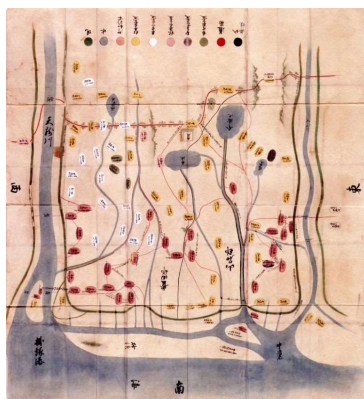
紛失した浜松市博物館資料（備品）の調査結果について

令和3年11月29日に紛失を公表した浜松市博物館が収蔵する資料6件について、紛失の時期や経緯に係る調査が終了しました。調査中に1件を発見したほかは情報提供もなく、紛失していることを再確認しました。調査結果は以下の通りです。

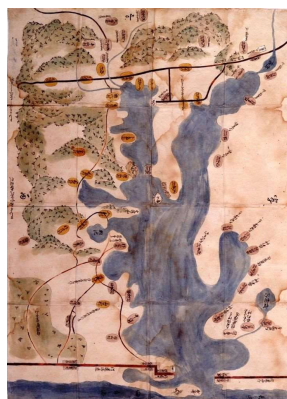
No.	品名等	区分	調査結果
1	とうかいどうめいしよずえ 東海道名所図会 1組	発見	博物館が所蔵する別の資料中に混在
2	いせごよみ (さとういおり) 伊勢暦（佐藤伊織）のうち1冊	紛失	紛失した時期や経緯は不明
3	えんしゅうごせんごくおんかえちず 遠州五千石御替地図（川東領）1枚	紛失	平成17年6月から7月まで遠州浜名五千石図が他館で展示された後、遅くとも平成23年の間のうちに紛失した可能性が高い。
4	えんしゅうはまなごせんごくず 遠州浜名五千石図（浜名領）1枚		
5	はまつじょうにまるえず 浜松城二の丸絵図 1枚		
6	きんばらめいぜんしよかん 金原明善書簡 1通	紛失	紛失した時期や経緯は不明

※No.3～No.5は、3枚まとめて風呂敷に包まれていた。

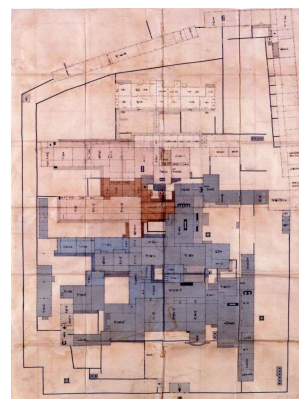
資料の紛失に至った原因については、資料管理の不徹底、セキュリティの不備、閉鎖的な組織風土の固着、職員の公務員倫理の意識不足などの要因が複合していると捉えられます。早急に改善できる課題については対策を講じるとともに、中長期的な課題については、今後の方針を定めた上で対応策を徹底し、再発防止に努めてまいります。



No. 3



No. 4



No. 5

調査結果の詳細

No.	品名等	購入年月日	購入金額
1	東海道名所図会 1組	昭和 59 年 11 月 29 日	120,000 円

江戸時代の道中案内書。印刷されたもので6冊がセットになっている。

【事実関係確認結果】

所定の場所とは異なる未整理の寄贈資料の中から発見された。

No.	品名等	購入年月日	購入金額
2	伊勢暦（佐藤伊織）のうち1冊	昭和 62 年 10 月 3 日	50,000 円

江戸時代から明治時代に作られた、月日、季節、日出日没、月の満ち欠け、六曜などを記した当時のカレンダー。45冊組であるが、そのうちの1冊（77番）のみ紛失。佐藤伊織は暦師の名。

【事実関係確認結果】

昭和 62 年 10 月に購入後、展示や貸出の履歴が確認できなかった。当該資料を見た職員もいないことから、紛失した時期や経緯は不明と結論づけられる。

No. 3～No. 5 は風呂敷に包まれて同梱であったことからまとめて記載

No.	品名等	購入年月日	購入金額
3	遠州五千石御替地図（川東領） 1枚	平成 7 年 5 月 19 日	721,000 円

宝永 9 年（1681）、浜松藩領（藩主青山家の時代）の領地替えに伴い作成されたと想定できる絵図。次のNo. 4 と組み合うもの。大きさは 139cm×109cm（概数）。No. 3 からNo. 5 は同梱であった。

No.	品名等	購入年月日	購入金額
4	遠州浜名五千石図（浜名領） 1枚	平成 7 年 5 月 19 日	721,000 円

宝永 9 年（1681）、浜松藩領の領地替えに伴い作成されたと想定できる絵図で、前のNo. 3 と組み合うもの。大きさは 104cm×71cm（概数）。

No.	品名等	購入年月日	購入金額
5	浜松城二の丸絵図 1枚	平成 7 年 5 月 19 日	2,060,000 円

浜松城内にあった二の丸御殿を描いた平面図。17 世紀（藩主青山家の時代）。大きさは 196cm×146cm（概数）。重要物品（取得価格が 200 万円以上）である。

【事実関係確認結果】

平成 15 年まで 3 点まとめて風呂敷に包まれていたことを複数の職員が証言。平成 17 年 6 月から 7 月に細江町歴史民俗資料館で開催された「姫街道」展にNo. 4 が貸し出された記録が確認できる。その後、浜松市博物館で平成 23 年 11 月から翌 1 月に開催された「城絵図」展の企画にあたり、No. 5 の出品が検討されたが所定の場所に収蔵されておらず、本企画での出品が見送られた。このことから、平成 17 年から遅くとも平成 23 年までに 3 点同時に紛失した可能性が高いと判断される。

No.	品名等	購入年月日	購入金額
6	金原明善書簡 1通	平成 13 年 10 月 30 日	26,250 円

古文書の類。金原明善が前田正名（薩摩藩出身、明治期に地方の産業振興に尽力した人物）へ宛てた書簡。

【事実関係確認結果】

平成 13 年 10 月に購入後、展示や貸出の履歴が確認できなかった。当該資料を見た職員もいないことから、紛失した時期や経緯は不明と結論付けられる。